

# 高圧ガス製造設備保安検査点検表(液石則第7条関係・第2種製造設備)

## 1. 事業所概要

事業所名称						
事業所所在地		〒				
許可年月日・番号		年 月 日			第 号	
処理能力		Nm <sup>3</sup> / 日				
製 造	容 器	容 量 基 数	kg 基	kg 基	kg 基	kg 基
		容器再検査	年 月	年 月	年 月	年 月
設 備	処 理 設 備	名 称				
		処理能力	Nm <sup>3</sup> / 日			
		開放検査	年 月	年 月	年 月	年 月
保安検査		年 月 日 氏名			印	氏名 印
協会指導		年 月 日 氏名			印	氏名 印
立会者		保安検査	氏名	印	協会指導	氏名 印

## 2. 記録簿

危害予防規程		S・H・R 年 月 日 認可・届出 有・無						
保安教育計画		保安教育計画書	S・H・R 年 月 日	有・無				
		今年度の策定状況	有・無	適・否				
定期自主検査		自 年 月 日	実施者					
		至 年 月 日						
申請書類等の整備		適・否	日常点検	適・否				
基準類の整備状況		適・否	受扱記録	適・否				
設備台帳補修記録		適・否	充填記録	適・否				
保安教育実施記録		有・無	容器底部検査記録	適・否				
周知書面交付記録		有・無						
防災訓練実施記録		有・無	実 施 日	年 月 日				

## 3. 保安管理組織

保安統括者	職 : 氏名 :	同代理者	職 : 氏名 :
保安係員	氏名 : 免状 : 講習 : H・R 年	同代理者	氏名 : 免状 : 講習 : H・R 年

\* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

#### 4. 定置式製造設備に係る技術基準(液石則第7条関係)

##### (1) 製造設備等

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
1. 境界線 警戒標	目 視	製造事業所 境界線の明示 : 有 : 無 警戒標の設置 : 有 : 無	適 不 適	第6条第1項第1号 例示基準1
2. 設備距離	計 測 目 視	第1種設備距離 : 法定 m、実測 m 第2種設備距離 : 法定 m、実測 m	適 不 適	第6条第1項第2号
3. 障 壁 4. 距 離 の 緩 和	目 視 試 験 記 錄	障 壁 : 高 さ m × 厚 さ cm	適	第6条第1項第3号
		水噴霧装置 : 每分 7 L/m <sup>2</sup> L/m <sup>2</sup>	不 適	第6条第1項第4号 例示基準2, 3
7. 火気取扱 施設との距離	計 測 目 視	法定距離 : 8 m 実測 m 流動防止装置 : 有 · 無 流動防止装置の種類 : ( )	適 不 適	第6条第1項第7号 例示基準8
12. 滞留防止 措 置	目 視 記 錄	2方向以上の開口部又は換気装置 有 · 無	適 不 適	第6条第1項第12号 例示基準11
13. 気密構造	試 験	製造設備は常用以上の圧で漏えいしない。 試験圧力 : MPa	適	第6条第1項第13号
18. 気密試験	目 視	使用ガス名 :	不 適	第6条第1項第18号 例示基準15
14. 材料規制	目 視 記 錄	安全な化学的成分及び機械的性質を有するもので あること	適 不 適	第6条第1項第14号 例示基準12
17. 耐圧試験	目 視 記 錄	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 高圧ガス設備の開放検査結果 : 適 · 否	適 不 適	第6条第1項第17号 例示基準15
19. 肉厚計測	計 測 記 錄	記録の保存 : 有 · 無 計測年月日 : 年 月 日	適 不 適	第6条第1項第19号 例示基準16
21. 圧 力 計	目 視 記 錄	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示 : 有 · 無 有効年月日の表示 : 有 · 無 試験年月日 : 年 月 日	適 不 適	第6条第1項第21号 告示第7条 例示基準17
22. 安全装置	試 験 記 錄	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管すること。 吹始圧 : 設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧 : 設定圧力の80%以上	適 不 適	第6条第1項第21号 告示第7条の2 例示基準17
23. 放 出 管	目 視	その他の高圧ガス設備 : 建築物、工作物以上 開口部レインキャップ : 有 · 無 開口部付近の着火源 : 有 · 無	適 不 適	第6条第1項第22号 例示基準18
28. 電気設備	目 視 記 錄	防爆性能が適切であるか	適 不 適	第6条第1項第27号
30. ガス漏洩 検知警報 装 置	試 験 記 錄	個 数 : 点 月例点検記録 : 有 · 無 作動状況 : テストガス 濃度 % 応答時間 : 30秒 秒 ~ 秒 外部発報 : 有 · 無	適 不 適	第6条第1項第29号 例示基準24

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
31. 静電気除去装置	目視試験	接地抵抗値：総合 100 ボンディング：有・無 損傷の有無、接続の状況：適・否	適 不適	第6条第1項第30号 例示基準25
32. 防火設備	目視試験	水源の保有量：必要量 m <sup>3</sup> 実測 m <sup>3</sup> 散水量：適・不適 操作位置：事務所・従業員控室等及び ( ) 2力以上 月例点検：有・無	適 不適	第6条第1項第31号 例示基準26
32. 消火設備	目視試験	消火器の設置個数： 個 定期点検：有・無 消火栓設置：有( 個)・無	適 不適	第6条第1項第31号 例示基準26
33. 保安電力	目視試験記録	保安電力の種類：適・否( ) 定期検査記録：有・無	適 不適	第6条第1項第32号 例示基準27
34. 通報設備	目視	通報設備の種類：( ) 通報設備の作動状況：適・否	適 不適	第6条第1項第33号 例示基準28
35. バルブ誤操作防止措置	目視	バルブの開閉方向、状態：有・無 流体の種類、方向：有・無 安全弁元バルブの封印等：有・無 適切な足場、照度の確保：有・無	適 不適	第6条第1項第34号 例示基準29
高圧ガス設備の基礎	目視	高圧ガス設備の基礎は、有害なひずみが生じないものであること。	適 不適	第7条第1項

(2) 容器置場 (面積: m<sup>2</sup>)

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
36. 警戒標	目視	範囲の明示：有・無 警戒標の設置：有・無	適 不適	第6条第1項 第35号のイ 例1
37. 置場距離	計測 目視	第1種置場距離：法定 m、実測 m 第2種置場距離：法定 m、実測 m	適 不適	第6条第1項 第35号のハ
38. 障壁	目視	有・無 (高さ cm × 厚さ cm)	適 不適	第6条第1項 第35号のニ 例2
39. 屋根	目視	充てん容器置場の屋根は、不燃性又は難燃性で軽量であること。	適 不適	第6条第1項 第35号のホ 例30
40. 滞留防止措置	目視	2方向以上の開口部があること。	適 不適	第6条第1項 第35号のヘ 例11
41. 消火設備	目視	設置個数： 個、定期点検 適・否 (最小B-10消火器2個以上、10tにつき1個以上)	適 不適	第6条第1項 第35号のチ 例26
参考		充填容器と残ガス容器の区分：有・無 整理整頓(不要なものの有無)：有・無 2m以内の引火性、発火性、火気等：有・無 温度計の有無： 転倒、転落防止措置： 作業心得： 充填機：連×台、連×台 転倒台：連×台		第6条第2項第7号 のイ ロ ハ ニ ホ 例示基準40,41

## 5. 気密試験結果

漏 洩 : 有 · 無	処 置 : 済 · 否 ( 処置者 : )
漏洩箇所 :	

## 6. 指示・指導事項